THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF
OSAKA NAKANOSHIMA
Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2016-2017)
国際会長主題 :“Our Future Begins Today ”「私たちの未来は、今日から始まる」
アジア会長主題 :“Respect Y’s Movement”「ワイズ運動を尊重しよう」
西日本区理事主題 : ワイズ魂で　更なるワイズの活性化を
中西部部長主題 : 世界をみつめ、地域とあゆむ
クラブ会長主題 : ー響き合う心と心ー　さらに

Monthly Bulletin
第 236 号
2016 年 9 月

聖書のことば
どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。
（フィリピの信徒への手紙４章６節）
選者　吉田　由美

９月第１例会プログラム

日時 : 2016 年9月 14 日（水）18 : 30～20 : 30
場所 : ホテルグランヴィア大阪

司会　武井　和子
1. 開会点鐘　杉浦眞喜子会長
2. ワイズソング
3. 聖句朗読　吉田　由美
4. ゲスト・ビジター紹介　杉浦眞喜子会長
5. 入会式《瀬島恵子さん》
6. 連絡・報告・ニュース
7. 食前感謝＆食事
8. 卓話 ***「女性と子どもの貧困 ー支援活動から見えたこと」***
正井　禮子さん
9. お誕生祝い.
10. YMCA の歌
11. 閉会点鐘　杉浦眞喜子会長

例会当番（B）　受付当番（A）

８月例会報告

感動的なフラダンス

山佐　亜津子

夏も盛りの８月 17 日（水）、涼やかに、そして華やかになかのしま・センテニアル合同納涼例会が開催されました。例会はいつも楽しいものですが、この日は美しい浴衣姿の鳥居さんの司会と、ハワイアンの色に彩られた両クラブのメンバーと 11 名のゲスト・ビジターが集い、特別な雰囲気で賑わった会となりました。

テーマのフラに相応しく、お料理も今回は粋なお計らいでハワイアン、ついお酒とともに歓談も弾みます。

さて、そのフラが単なるダンスではなく、宗教的な意味があったり、先住民のアイデンティティの表現として大切に継承されていることは、少しは一般的にも知られていることでしょう。しかし、植松メンとフラハラウ（フラの学校）「カフラオナホクオカモアナバキピカ」佐々木先生の解説からはさ

らに興味深く、フラは空や川や水の流れ、風、木々や草、木の実など、島の豊かな自然や、恋愛、結婚といった人々の生活の営みなどが語られていて、その芸術性は磨き続けられてきたことなどが分かります。

〈次頁に続く〉

正井禮子さんプロフィール

神戸大学教育学部卒
ＮＰＯ法人　女性と子ども支援センター　ウィメンズネット・こうべ　代表理事
三木市男女共同参画センター女性問題相談員
１９９２年に、ウィメンズネット・こうべを発足させ、女性と子どもの人権を守り、男女平等社会の実現に向けて、地域でさまざまな活動をおこなう。

８　月　統　計

第１例会出席者数		例会出席率		ＢＦ統計			
メンバー	17 名	出席者	17 名	日本	100ｇ	累計	1991ｇ
ビジター	7名	メイキャップ	0名	外国	ｇ	累計	95g
ゲスト	名	合　計	17 名	現金	円	累計	円
コメット	1名	在籍者	19 名	提供者：今井、江見、大岸、桑原、杉浦、武井、藤井、保田、吉田、渡辺			
合　計	25 名	出席率	89.5%				

そして実際に披露してくださった南国的で心地よい音楽に乗せて踊るダンスの、そのしなやかさと表情には、島の日常の中の輝きや平和が映し出されているようで、感動的でもありました。

ワイズメンによる「センテニアル・ハネリマカヒキウクレレバンド」もまた素敵なハーモニーでした。ウクレレ、ギター、キーボードの演奏と伸びやかなコーラスに、誰もが自然と笑顔になってしまいます。ワイズメンには多才な方々が多いのですが、人をこのように幸せな気持ちにさせるこんなバンドもできるのですね。素晴らしいタレントです。

今年の日本の夏は特別に暑いようですが、しばしその暑さも忘れ、多くのワイズ仲間が共に楽しく豊かな気持ちで過ごせた、最高の納涼例会でありました。

……

とさぼりサマーセミナーに参加して

生雲　文枝

7月24日（日）、今年もサマーセミナーの夏がやってきました。子供たちはもう夏休みかな？　お母さんたちは大変だなと思いつつ、土佐堀 YMCA へ。

９時から全体ミーティングを受け、腕章をつけ、受付セットをもらって講座教室に行き、提示物を貼る。ここまでは昨年と全く同じでした。

しかし、これから嬉しい出来事がありました。一緒の組になったボランティアのお嬢さんが受付業務を率先してやってくださったのです。彼女は一般公募の方で、夏休みにボランティア活動がやってみたいと思って参加されたそうです。お陰で私は“さをり織り教室”で武井さんにさをり織りの手ほどきを受けることができました。

担当のレザークラフト講座では 10 組の家族がレザーで巾着を作りました。鳩目の抜き方が少し難しかったようです。

午後の講座は“くねくねスネーク”といってセンテニアルの石津さん考案の工作でした。これもパーツが沢山あって子供たちは組み立てるのに時間がかかりました。ボンドでくっつけた部分がはがれたりして悪戦苦闘しましたが、小学生の男の子たちは最後まで頑張りました。何事も最後までやり遂げるのは大切なこと、いい勉強をしたね。

今年の夏も始まったばかり、子供さんたちには楽しい夏休みを送って欲しいものです。最後にボランティアが集まって締めのミーティングを行ったのですが、工藤さんの「これからは高齢者向けのセミナーもいいですね」という意見には、少し複雑な気持ちになりました。来年は講義を受ける側にまわらなければならないかしら？

……

エイジングセンタープログラム「阿波おどり体験と山の学校ツアー」報告

大橋　昌美

徳島の夏祭りと言えば「阿波おどり」！「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにゃ損々」とあるように見るより踊ろうということで、ＹＭＣＡエイジングセンターでは毎年徳島ＹＭＣＡ連（一つの踊りのグループを連といいます）に参加し、一緒に踊る「阿波おどり体験ツアー」を実施しています。今年で４回目をむかえ、この８月 12 日から 13 日で 24 名の参加者のみなさんと一緒に行ってまいりました。

徳島に到着するともう町は阿波おどり一色です。夜になると多くの露店が立ちならび、道路は歩行者天国、さまざまな連の踊り子たちが町を歩いたり踊ったりしています。

まずは阿波おどり会館を訪れ、有名な連の演舞の見学と踊りを体験しました。さすがにステージで披露される阿波おどりは迫力があり、また女踊りは上品でとても優雅なもので見応えがありました。さらに観客は連の踊り子と一緒にステージにあがり踊りまくります！　もちろんＹＭＣＡの参加者のみなさんも一緒に乱舞していました。

見学と体験で頭と体のウォーミングアップが終わったここからが本番です。ＹＭＣＡの法被に着替えて、徳島ＹＭＣＡの子供たちやリーダーと一緒に練習をした後、演舞場まで移動しスタートです。リーダーの「ヤットサー、ヤットサー、踊りはＹ･Ｍ･Ｃ･Ａ！」の掛け声にあわせて踊り、たくさんの観客の前を通っていきます。はじめは緊張し、動きも小さかったのですが、段々と慣れてくるとリーダーと一緒に掛け声をかけながら楽しく、大きく、元気に踊っていました。その踊る楽しさは体験しないとわかりません。やっぱり「踊らにゃ損々!!」ですね。あっという間の約５００ｍの演舞場を踊り終わると、法被は汗でびっしょりでしたが、みなさんとても満足な顔をしていました。

来年もまた実施いたしますので、ぜひご参加ください！一緒に乱舞しましょう!!

なかのしまの 20 年

杉浦　眞喜子

3．女性のクラブ

チャーターの前にも、そしてチャーターした後でも、「なぜ女性だけ？」とよく聞かれ、いつも答えに窮していました。

最初の回に書きましたように、元々、他のクラブがやらないことをやりたいという親クラブの軽いノリで決まった「女性のみのクラブ」、大した「ポリシー」も「強い思い」もなく、「ワイズだもの、いろいろあっていいじゃない？」とさらりとかわしていました。私自身、ちょうどその頃勤務する大学が女子大から共学に変わったところで、それこそ侃侃諤諤の大論争を経験したばかりでしたので、正直なところ内心「いまさら女性のみ？」「今の時期に何で逆戻りのような……？」という思いを消しきれていませんでした。

しかし、25 人の仲間とチャーターの準備を進め、チャーターナイトを迎え、クラブが出来上がっていく内に、そんなモヤモヤとした思いは完全に吹っ切れていました。「なぜ？」にはうまく答えられないのですが、「結果を見て！」と胸を張って叫びたい気分でした。（実際に叫んでしまったら、周りの男性ワイズからのブーイングに会いそうなので、密かに「自画自賛」です。）女性特有の「きめ細かさ」と「いい意味での生真面目さ」そして「粘り強さ」さらに「ちょっと強めの拘り」と「センス」。でも「お互いを思いやり、受け入れる柔軟さ」も。こんな特徴を当てはめることの出来るクラブが出来上がっていったのです。私はチャーターの挨拶で「……紛れもなく女性の視点からワイズに新しい風を吹き込む存在になれるかもしれない……」と述べています。

どちらかというと男社会（男性の視点で動いている社会）で仕事をしていた私には、勿論戸惑いもありました。何か提案しても、なかなか決まりません。会長が（これこそはと自信を持って）提案しているのに、そう簡単には賛成してもらえません。いろいろ細かいことまで、疑問を呈してきます。そんな細かいことは、後でゆっくり考えればいい、まず大筋を決めて……と言っても、それは通りません。みんながきちんと納得できないと進めることが出来ないのです。しかしこれが、丁寧なクラブ運営につながっていき、なかのしまクラブの大事な特徴になっていきました。さらに、こんな風になかなか決められないことでも、一旦決まると今度は一人残らずみんなが動きます。「あいつが言い出したのだから、あいつに任せたらいい……」などということにはならないのです。これも我がクラブの大きな特徴になっています。

当初親クラブの中には、「女ばかりだと、その内ゴタゴタ揉めるぞ」などという陰口もあったように聞いています。でも不思議に私たちはそのようなことなくこの 20 年を歩んでくることが出来ました。その間 25 名いたチャーターメンバーは 8 名に、そして新たに多くの仲間が加わって下さっています。でも、最初に私が「結果を見て！」と言いたかったものは、今もそのまま健在です。これからもこの女性ならではの特徴を活かしながら、ワイズに新しい風を吹き込む存在になっていきたいとものと思っています。

コメットに手を引かれて

武井　和子

障害者グループホームと保護者

「津久井やまゆり園」での残虐な事件は、驚愕、怒り、思い悩みで、胸が張り裂けそうになりました。障害者に対する差別心が同じ人間にある事の恐怖に慄きと、美帆の将来への不安が湧きあがってきました。美帆は８月９日に 44 歳の誕生日を迎え、中年にむかっています。

現在アトリエゆうハウスに通園しているメンバーは 20 代 30 代の方々が主です。当然保護者の方々も若い！でも、将来の不安を抱えて、日々生活され、かけがえのない愛しい子供を育て暮らしておられると思います。今回の事件を通じて、切実に思ったのは、美帆の老後の居場所です。共生への歩みと住まい、障害者が疎外されないで、生きて行くことの出来る場所……夢のようなことでしょうか？

わたし自身の老いが進んで行く中、不安が広がります。ゆうハウスのメンバーは時々宿泊施設を利用します。訓練と親の仕事の都合などで宿泊します。老人介護の宿泊と似通っています。先日、中井先生とグループホームのことを話し合いました。

石川県で運営されている「佛子園」の話題になりました。金澤市郊外に老人ホーム、学生アパート、障害者施設、学童保育、温泉施設食堂等々、全てごちゃまぜの施設、すなわち共生です。

老人、青年、小学生、幼児全ての世代の人々が障害者とともに交わり、生活をしている素晴らしい施設です。

このような大規模な施設でなくとも、私達ゆうハウスの保護者でグループハウスを作りましょう！　現在参加希望者は３名、少しずつ努力して、実現させようと話し合いました。

神の満ち溢れる豊かさの全てにあずかり、私達が求めたり思ったりすることすべてを、叶えることの出来る神さまにおねだりします。母娘で入居できるグループホームがほしい！！

８月第２例会報告抄

日時：2016 年８月 10 日（水）18：30～20：30
場所：大阪 YMCA　504 号室
出席者：15 名

1．中西部第 1 回評議会の報告を受けた。
2．チャリティーラン（9月 22 日）では例年通り、抽選券の販売と景品渡しを受け持つ。
　サポート依頼のあった表コミ（エントリー費用 30,000 円）とエイジングセンター（エントリー費用の一部 20,000 円）を支援することとし、いずれもニコニコ会計より拠出する。
3．土佐堀カーニバル（11 月 3 日）の協賛金 10,000 円をニコニコ会計より拠出する。出店はバザーとし、販売用献品は９月第２例会に集める。
4．「アトリエゆうハウス」との交流について、９月 21 日（水）六甲山 YMCA でのバーベキューを共にする。
5．20 周年チラシを各部会で配布することとした。

ニコニコ献金　8月　14,015 円

〈ニコニコメッセージ〉―　8月例会　―

☆昨年はアジア大会の暑さに負け、今年はテレビに熱中症に気を付けましょうというテロップが出る度に急いで飲料水を飲んでいる始末です。（生雲）

☆久し振りに「センテニアルクラブ」との合同例会なので振り替え例会、暑い中新しい年度の始まりです。みんなで引っ張って下さいね。（今井）

☆久しぶりの合同例会、賑やかでしたね。フラダンス、ウクレレもいいなあ～。ハワイに行ってみたい気分でした。（大岸）

☆先日、紀泉わいわい村にて世代間交流プログラムを行いました。日常とは違った里山の暮らしということで、かまどでご飯を炊いたり、クーラーもない生活でしたが参加者全員いい体験ができました。（大橋）

☆センテニアルさんとのフラナイト、賑やかで楽しかった。ハワイアンウエディングソングはあの映画を思い出させる。フラの踊りも衣装もレイも優雅でとても素敵だった。（国友）

☆今年も花火を見ましたが、この１年で公園の木が大きくなっていて、下のほうが見にくくなりました。その木を勝手に切りに行くわけにいかず、伸びてるのは元気で結構なことだし……、建物に影響するわけじゃないし、「花火が見え難くなったので切ってください」とは公園課に言えないし……。（桑原）

☆暑い暑いこの８月、事情で車に乗れなくなりました。せっせと歩いて、汗をたくさんかいて、思い出深い夏になりそう。（杉浦）

☆障害者はいらないという言葉に心が乱れ、ハンディーを持つ子供の親として思い苦しみます。でも、神さまから与えられた愛しい子供ですから、全力で守ります。（武井和子）

☆瀬島さんの入会とてもうれしいです。（武井美帆）

☆「暑い！」と言いたくないので、書いてしまいました。（鳥居）

☆センテニアルとアロハ納涼合同例会。アロハオエ、ブルーハワイなど聞きなれた音楽、素敵な笑顔のダンス、美味しお食事、とても楽しいひと時でした。（藤井）

☆住んでいる枚方は、関西でも有名な『暑い』場所です。例年にない猛暑日が続き、好きも嫌いもなくクーラーのお世話になって暮らしています。あ～電気代が怖い！！（藤好）

☆「お暑うございます」このあいさつばかりの猛暑です。何だか体がフラフラします。（保田）

☆今年の夏も特別に暑いですが、適度な運動で、夏バテなし、です。（山佐）

☆酷暑で外出する気にならなくて、リオ・オリンピック、高校野球、プロ野球とテレビのスポーツ放映を観る時間を過ごす日々である。（吉岡）

☆毎日暑くて気が滅入ってしまう中、センテニアルクラブとの納涼例会は夏を嫌な季節から楽しい季節に換えてくれました。毎夏の行事として定着させたいなあ～。（吉田）

欠席者メッセージ

★８月の暑さの中、ビールなしの夏は何十年ぶりでしょうか。オリンピックの超絶技巧に驚きながら、私は術後の驚異的回復力を目指しています。８月例会の盛会を念じつつ。（江見）

[お詫び]

先月号ブリテン“ニコニコメッセージ”に下記の掲載忘れがありました。お詫びいたします。（編集子）

☆華やかな中にもしっかりした例会で勉強になります。
（地域奉仕・環境主査、大阪西クラブ：清水誠治郎）

YMCA ニュース

☆第 281 回　早天祈祷会

日時…2016 年９月 16 日（金）7:30～8:30
証し…小寺　規久子さん（大阪 YMCA　中高齢者事業スタッフ）
場所…大阪 YMCA 会館　10 階チャペル

☆2016 チャリティーラン参加賞記念 T シャツ協賛のお願い

９月 22 日開催のチャリティーランにて、「チャリティーラン参加賞記念 T シャツ」への協賛広告のご案内です。

ご協賛頂いた企業様、個人様のロゴを T シャツに入れさせていただきます。ロゴ入りの T シャツを参加者の皆さんが来ていただくことで、広報や CSR にもご利用いただけます。

個人様でも企業様でもお申し込みができますので、ぜひご協力をお願いいたします。但し、限定 18 コマとなりますので、先着順とさせていただきます。（１コマ　30,000 円　２コマ 50,000 円）

http://www.osakaymca-action.org/Events/OsakaYMCA-International-charityrun/2016/sponsor.html

チャリティランの特設サイトもぜひご覧ください。

http://www.osakaymca-action.org/Events/OsakaYMCA-International-charityrun/2016/index.html

お申し込みは、WEB サイト上でも可能ですし、各連絡職員までご連絡いただいても結構です。どうぞよろしくお願いいたします。

☆第 36 回ＨＨ国際キャンプ無事終了のお知らせ

8/8（月）～13（土）の期間、六甲山 YMCA・グローバル・ラーニングセンターを中心に 開催されました標記キャンプは、無事に終了いたしました。参加者からは、多くの称賛の声が寄せられ、今回も YMCA の使命に沿った有意義なキャンプでありました。

このたびは、皆様からの多くの支援に助けられたキャンプでした。また、報告会を持ちたいと思いますので、よろしくお願いいたします。本当にありがとうございました。　大橋昌美

《《《　お知らせ　》》》

◎児玉壮一さん、佐藤奈津子さん（藤好さん友人）から、BF 使用済み切手を頂きました。感謝。

◇９月お誕生日の方◇　*Happy Birthday*

保田　圭子	２日	武井　和子	７日
鳥居　　翠	８日	松下　広子	26 日

編　集　後　記

17 日間にわたるリオデジャネイロ・オリンピックも幕を閉じました。涼しい室内で TV 観戦をされた方も多かったはずです。４年後の東京オリンピックは現地観戦をしたいものです。